

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和2年10月21日(水) 第1委員会室
2. 出席委員 吉方明美委員長 近藤久子副委員長 谷口隆明 徳永泰臣 五島誠
3. 欠席委員 坂本義明
4. 事務局職員 丸飯龍太議会議務局主事
5. 説 明 員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議に付した事件

- 1 閉会中の継続調査について(今後の取り組みについて)

午後3時44分 開 会

○吉方明美委員長 教育民生常任委員会を開きます。

- 1 閉会中の継続調査について(今後の取り組みについて)

○吉方明美委員長 本日の協議事項は、閉会中の継続調査について、今後の取り組みをどうするかということについて、皆さんと協議をしたいと思います。4つの項目について閉会中の継続ということにしております。生活交通に関することについて、子育て世代包括支援センター事業に関することについて、教育条件整備について、感染症対策についてというふうに4つを挙げております。まず、生活交通に関することについて。この件については、今後どういう取り計らいをしましょうか。

○徳永泰臣委員 このあいだオンラインでやった分以外はない。

○吉方明美委員長 あれ以外にするか、まとめに入るか。まとめができるかどうか。

○五島誠委員 現在、公共交通会議を設置されて、新しい計画をつくられる段階だと思う。どこまで進まれているのかわからないので、一度、担当課をお招きして現状についてお伺いすると同時に、この間、我々がいろいろと調査してきたことを、逆に言えば執行者へぶつけるといえますか、そういった機会を持つのがよろしいのではないのでしょうか。

○谷口隆明委員 公共交通会議で新しい計画を立てるということなので、今、言われるように、そういう進捗状況は聞いていないですよね。それを聞くことかな。それと、先進的な事例とかいろいろ調査できればいいのですけれどね。

○吉方明美委員長 例えば、どんなことを。

○谷口隆明委員 今、Ma a Sをやっていますけれど、例えば、新見市の取り組みとかというようなこと。行くというのは無理かもわからないので。神石は皆さん御存じだけれど、タクシーの問題とか今いろいろ問題になっていますが。いろんな取り組みについて資料を取り寄せて調べるだけでも。

○吉方明美委員長 12月議会までにまだ調査を続けるということですか。

○谷口隆明委員 そうですね。だけれど、12月までの調査と言えば、集中的に調査ということになれば

生活交通が中心になるのではないかと。子育て世代包括支援センターの進捗を少し調べるぐらいと、教育条件もこの前一定のまとめをした。今から条例が出てくるので、それを見て対応するぐらいで、一番しやすいのは生活交通ではないかという気がします。

○吉方明美委員長 いろいろな事項について中間報告という形でしたが、12月議会でこの中間報告ができる状況にあるかどうか。

○五島誠委員 12月のところで中間報告をする必要があるかどうかも含めて考えないといけないのかなと思います。生活交通のことについては、計画策定のスケジュールの具体的なところも報告を受けていない段階なので、なかなかその段階ではどこに最終報告を持っていこうというのはこちらも戦術が立てられないと思うので、まずはそれを聞いてからになろうと思います。

○吉方明美委員長 担当課と進捗状況の話し合いの場を持つ。

○五島誠委員 まず現在のことを知らないとなかなかできないですね。

○吉方明美委員長 副委員長どうですか。

○近藤久子副委員長 立ち話ではあるのですが、庄原市生活交通ネットワークの再編計画第3期を立てないといけないと。2期のときにもアンケート調査をしていらっしゃるのですよね。本来ならば今年度でできた予定が、コロナの関係でこういう時期にアンケートをとっても正確な住民の気持ちが伝わるだろうかということで延びていると思います。そういうことも含めて、今後どういう計画になっていくのかということをもっと聞いてみる。それを聞く中で、先ほど谷口委員がおっしゃったように、こういう課題がまだあるということであれば改めてやっていけばいいのではないかなと思うのですけれども。まず担当課から今までの進捗状況、これからの方針をしっかりと聞くことが大事かなと思います。

○吉方明美委員長 では、皆さんから出たように担当課と協議をする。中身については、現在の進捗状況と今後の取り組みについてどうなのかということについて聞いていこうということで、12月の議会が始まるまでにスケジュールを入れ込むようになりますが、いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○吉方明美委員長 では2つ目、子育て世代包括支援センター事業に関することについて。これについては、既に事業はもう4月からスタートしている。

○五島誠委員 4月から動き出して、コロナのこともありましたけれども、中間報告をもう既にしておりますので、3月に最終報告するに当たって、約1年間やってみての足を踏まえたところで最終意見をまとめて最終報告をすればいいのではないかなと思います。

○吉方明美委員長 最終報告、これは3月議会になる。

○徳永泰臣委員 12月にどうしても報告しないとけないものでもないし、大体1年経過を見て報告するのでいいのではないですか。

○近藤久子副委員長 ネウボラとは一体何ぞやから始まって、この委員会で県にも行き、北広島にも行き、三次に行き、しっかり議論してきました。その内容がスタートしておりますが、そうは言っても新たに課題が出てきているかもしれない。課題をどういうふうクリアしていけばいいのかということも大事なことだと思います。それを3月に最終報告するのかどうかですね。

○吉方明美委員長 これ、中間報告しているよね。

○近藤久子副委員長 中間報告しております。ですから、進み出して、さらにこういう状況ですというものが最終報告でいいのではないかなと思う。

- 吉方明美委員長 ということは、担当課と意見交換をして、現在までの経過とやってきた中での課題がどんなものがあるかということを知りたい。
- 五島誠委員 緒に就いたところですし、まだ1年間を通してこの事業を行ってないので、できるだけ1年間を通してのもので最後報告をしたほうがいいのではないかなと思いますので、私は3月議会の報告でよろしいのではないかなと思います。
- 吉方明美委員長 ということは、担当課との意見交換をいつごろにするか。
- 五島誠委員 特段気になることがあれば近々にやってもいいかなと思いますし、そこまででもなければ3月議会の中の委員会日のところで聞いて、最後にまとめるような格好でも特段問題はないのではないかなと。
- 谷口隆明委員 年明けの1月の終わりとか2月初めとか、その辺にやっておかないとまとめるのが大変かもしれないので、特にコロナで最初の取り組みが3カ月ぐらい遅れた中で出発して、その後ずっと挽回して今やられているのですけれど、そういうこともあるので、3月議会が始まる前に早い段階で執行者に聞いて、それを受けて報告するようにすればどうかと思います。通常よりは多分1カ月早くなるのではないですかね。
- 吉方明美委員長 1月にしますか。それとも年内にしますか。
- 近藤久子副委員長 何か考え方があって、スタートがちょっと遅れた。こちら経過を聞くにはぎりぎりまでできるだけ長いことが聞きたい。そうなってくると、しかもまた、議会が早く始まりそうだ。来年だとぎりぎりですかね。
- 谷口隆明委員 年明けの1月でも。
- 近藤久子副委員長 1月の早いうちですね。
- 吉方明美委員長 1月中旬に意見交換をしたものをまとめとして3月議会に出すということでもいいですか。
- [「いいです」と呼ぶ者あり]
- 吉方明美委員長 3つ目に行きます。教育条件整備について、学校適正規模・適正配置ほか。これについては既に中間報告をして、それに基づいて執行者に対して提言もしたりして、その後の取り組みも終わったよね。現場についても動きがあって、来年4月の統廃合については固まったような気がするのだけれど、あとは中学校の統合が残されているのだけれど、どうするか。今のところ、このメンバーで中学校について議論するのは、中学校統合は時期的にもう少し先なので、議論するには時間的な余裕が。来年3月末までに動きがとれるかと言えば、いかがなものでしょう。
- 五島誠委員 中学校統合の時期は先なのですけれども、コロナの影響とかもあって、本年度なかなか調査できていないのが現実だと思うので、中学校についてもやはり最後までできないと思うのですけれども、その議論の緒には就いておいたほうが、全く空白になってしまうような気がするので、何らかの方法をとっておくべきではないかなと。
- 吉方明美委員長 ただ、私が心配しているのは議論する土台ができていないような。現場が動いていない。地元の中学校の関係者の動きはないよね。
- 五島誠委員 わからないです。
- 吉方明美委員長 総領が庄原へ行くことになるけれど、何も総領の動きはないし、そうした中で議会がどこで、何を、どう議論するか。現場の声を聞くということもできず。

- 五島誠委員　　学校の中ではないかもしれないのですけれども、伝え聞くには、例えば、高野でこのことだけではないと思うのですけれども、教育部というようなものができたりして、そこでいろんな議論をされているということは聞いたりもします。あるいは、先般も市のPTA連合会役員会から2点にわたっての要望書も出されているわけで、それは直接この学校適正規模・適正配置のところを指して要望はされていませんけれども、我々と同じように教育条件整備について要望を出されていますので、その中での意見交換は可能ではないかなと感じたので、まだうちの委員会でも議論できる部分があるのではないかと。
- 徳永泰臣委員　　議論というのはもうあると聞きます。高野とか結構聞いているので、その辺の話聞くことはできると思いますけれども。どこもそうかと言えばわかりませんが、総領とか比和の話はまだ聞いていないのでよくわかりませんが、少しずつそういうのを聞いてもいいのではないかなとは思っています。
- 吉方明美委員長　　谷口委員どうですか。
- 谷口隆明委員　　いろいろ聞くことはできますけれども、まとめることは多分できないと思う。だから現状を聞いたりとか。第2グループも始まっているし、そこらをどうするかという問題もある。ただ、今から年末で1月、2月の間に調査をして一定の方向性を出すというのは多分無理だと思うので、どういう形で何を目的に調査するのをはっきりしておかないと、中途半端になるのではないかなという気がするが、私もどこを目指してどのようにしたらいいかはちょっと。ただ、意見聞くだけならできると思うのですけれど。
- 近藤久子副委員長　　中学校の場合は説明会をまだしていません。それから、意見をお伺いするのも、やはりその辺の意見を聞いて、また住民の方たちにも考え方の変化があったりとかうねりが起きたりとかあると思うのですけれども、うちの委員会で動いて御意見を聞くということは、非常に微妙なものです。谷口委員がおっしゃったように、第2グループは説明会も始まっているのですか。山内が東に行けとか。まだですよ。教育条件整備については動きにくいですね。なかなか聞きに行くというのは難しい。
- 吉方明美委員長　　このメンバーで3月末までに聞きに行くほどの材料が地元としてもないし、こちら側も何をもって聞きに行くかということがぼーっとしてくるので、この件については次の体制へ任せたいほうがすっきりする。途中までついでに来年4月の新しい体制に引き継ぐこともどうかと思うので、私たちは当面、第1グループのところだけはいくらか整理ができたつもりではあるのだから、次については静観しておきたいのですが、どうなのですか。
- 五島誠委員　　おっしゃることもすごくよくわかるのですが、ただ1点危惧するというか、このまま何もせずにお任せしましょうみたいな感じになると最終報告もしようがないし、難しくなるような気がするのです。確かにおっしゃるように、まだこれから先の話の中で緒に就いていない部分も多いが、一方で、世の中のというか、公教育のあり方についてもものすごく変わっていく過渡期にあるということもまた事実だろうと。このコロナの事もそうですし、オンライン授業がどんどん進んでいったりとか、そういったことも入ってくる。例えば、中学校であっても、今までと同じようなスタイルになってくるかということもまだわからない部分もあるので、ある意味では庄原市の現状としては行ってみないといけないうのですけれども、もう少し広い視点で勉強しておくということは、逆に言えば、次期の方々に対して引き継ぐにしても何か材料ができるのではないかなと個人的には考えるのですけれど

も。

- 吉方明美委員長 具体的には。
- 五島誠委員 例えば、文科省がGIGAスクール構想とか進めようとされたりするのですが、そういったものについて実際詳しくわかっていないので、調査よりも少し下がった学習に近いと思うのですが、そういった学習会みたいなのはこの間であってもできるのかなと。今できることと言えばそういったことをするのがいいのかなとか感じるのですけれども。
- 吉方明美委員長 どういう形で。
- 五島誠委員 例えば、議員皆さんがいろんな資料をいろんなところからそろえて、それで皆さんで学習会みたいな格好ということではできないのではないかなと思うし、それをこの委員会だけではなくて議会全部に広げていくことも場合によっては可能だと思いますし、あながちここで議論をやめてしまうというのもどうかと思う。
- 吉方明美委員長 やめないけれど、12月議会までの間に何ができるかなということで、長い目で見ればそれは大事なことだと思うけれど、いかがかなと。確かにこの4つは大事なことなのだけれど、あれもこれも一生懸命すればできるかもしれないけれど、次に引き継ぐことができるような研修ができるかなと。これで終わってしまったらつまらないし。
- 谷口隆明委員 今、五島委員が言われるようなことをするのであれば、常任委員会というよりも調査会の形でみんなでGIGAスクール構想について勉強するというようなことができるかもしれないけれど、それをまとめて報告ということにはなかなかかなりにくいかなと。私もGIGAスクール構想についていろいろ勉強しているけれど、それを全会一致でまとめて12月とか3月に報告するのは難しいかなと。だから、もし本当にやるのであれば正式な委員会ではなくて、その中でしないとこの問題で言えば難しいかなという気がします。
- 近藤久子副委員長 私も同じ意見です。
- 五島誠委員 それはそれでいいです。だって、多数決の原理で僕1人で言ってもしょうがないので。
- 吉方明美委員長 もう一回きれいにおさらいしてください。
- 谷口隆明委員 今のそういう新しい学校教育のあり方についてというものを、もしやるのであればそういうふうにしなさいといけなさいと言った。委員会としては中間報告をして、全協に非正規な報告をしたのだけれど、委員会としてのまとめはしないといけなさいかなと。最終の3月に結論も含めて簡単なものかもしれないけれど、このまま中間報告でこの任期が終わって、次の委員会に渡すというのは不自然かなという気はします。
- 吉方明美委員長 中間報告に基づいて3つの提言をした。その提言について教育委員会と意見交換会をして、その交換会をさらに全協で報告をしたから私的には終わったかなと思ったのですが、あれ以上に何ができるかなと思って。
- 谷口隆明委員 全協で報告したので閉会中審査の最終報告ということに皆さんがするのであればそれでいいのかもしれないが、本会議で最終的報告を、例えば、いろいろ調査して第1グループはこういう結果になったとか、いろんな議論の経過をまとめてやっておかないと終わったことにならないのではないかと私は思ったのですけれども、どうですか。
- 五島誠委員 第1グループの件でいいますと、今度の12月議会が一つのポイントになるのだと思います。その中の補正予算の中で、きちんと必要な予算が組まれているかどうかということについても見

ていかないといけないでしょうし、逆に言えば、第1グループのことをやるのであれば、そういったところが大切になってくるのかとは思いますが。ただ、予算が出た段階になると、今度は予算決算常任委員会の所管になってしまうので、なかなかこの委員会ですらこういうことは難しいかもしれないですけど。補正予算が出る前に、一度、教育委員会をお呼びしてどういう形で出されるのか確認をしておいたほうがいいのではないかと思います。

- 吉方明美委員長 補正予算の中へ委員会の意見も入れたものにせよという意味が入るのか。
- 五島誠委員 入れたものにせよという言い方はなかなか難しいし、なかなかできないと思う。ただ、それが全協とかで報告があるのかどうかかわからないですが、大きなものなら大体所管の常任委員会のところに報告があるではないですか。こういったことでやっていこうと思うのですというような、審議の前に協議みたいな場が必ずあると思うのですけれども。そういった場があるのかどうかも今の段階では僕らのほうではわからないのですけれど。
- 谷口隆明委員 第1グループについては、もう新年度予算で計上してやられていると思うので、新年度予算の中の審議でやると思います。いずれにしても、12月議会で条例改正をして決まるのだと思うのですけれど、そういうことも受けて私が先ほど言ったのは、委員会としてはこの前の全協の報告で閉会中審査はもう終わったことになるのか、それとも閉会中審査に挙げて中間報告した以上は、結果だけでも最終報告ではこういう提言をして、こうなって、実際はここが統合したというような委員会としての最終の結論は3月に言っておかないといけないと思うのですが、皆さんいかがですか。全協でいいと思われませんか。
- 吉方明美委員長 内容的には同じようなことを言うようになると思うのですが、本会議で言うべきことだとは思いますが。
- 徳永泰臣委員 内容的にはもうほとんど同じになると思うのですが、全協で報告したからと言って報告が終わったということにはならないと思う。最終的に、ほぼ同一内容にしてもやはり本会議で報告をしていかないと。
- 吉方明美委員長 この件についての最終報告は、全部が終わらないと最終報告にならない。
- 五島誠委員 そうはいいまでも、今回のこの常任委員会の中では最終報告を、一たん切りをつけておかないと、報告しないで閉会中の継続調査を終わらせることはできるとは思うのですけれども、いささかこの件については最終報告なしで終わらせるというのはわけにはいかないのではないかなと個人的に思います。
- 吉方明美委員長 もしするとすれば、最終報告の時期は12月か。
- 五島誠委員 例えば、12月の条例改正で改めてほかの議員の方々、あるいは執行者の方々に、その前に伝えておく必要があるとすれば12月議会で最終報告をするべきだと思うし、そうではなく、そこは最後にこの委員会でやってきたまとめをするのなら、3月でも僕は十分かなと思います。
- 吉方明美委員長 ただ12月で条例改正があったりするから、一人一人の判断が必要な場面がある。その前段でこの件について最終報告をして、判断材料の一つにしてくれみたいな形でしておいたほうがいいのかと思うけれど。
- 谷口隆明委員 受けとめ方はどうかわかりませんが、判断材料の一つにするという意味で、この前全協でやったと思うのですよ。だから委員会としての最終のまとめは、3月議会でそういう議決の結果も含めてこういう方向でやってきたけれどもこういう結果になったとか、いろんな総括的なこと

を簡潔にまとめて報告をしておかないと。例えば、こういう課題が残ったので、次期の委員会に検討してもらいたいということも書くかどうかも含めて、一応本会議で締めをしておかないといけないのではないかと思います。

- 吉方明美委員長 それでは、3月議会で最終報告をするようにしましょうか。この間の教育委員会との意見交換が最後で、最終報告のための委員会としての取り組みは、もうこれ以上のことはないか。
- 五島誠委員 教育委員会の方ともう1回ぐらいはしてもいいのではないですか。あれももう何カ月か前で時間も経っていますし。例えば、年が明けたぐらいのところで、そのタイミングは実際に学校がなくなる寸前のところになると思うのですね。いろんなことが動き出して、閉校式がどうなるかとか記念誌がどうなるかとかそういったことも全部明らかになっていって、足りない予算は何なのかとかもわかってくると思うので、もう1回、2回ぐらいは、少なからず執行者とは議論の場を持ったほうがよろしいかと思う。
- 近藤久子副委員長 中間報告したときには、まだ美古登のことが出ていなかったのですか。中間報告のあと出てきましたね。
- 吉方明美委員長 口和が最近。
- 近藤久子副委員長 口和のことが最後。口北と口南のことは全協のときには出ていなかった。
- 吉方明美委員長 口頭で説明した。
- 近藤久子副委員長 ですから、最終報告にはもちろんその文言を入れると思いますし、皆さんの御意見を伺う中で3月の議会で最終報告をしましょうと。それは、議決のそういうところも含めて条例の改正もやっていくわけですけれども、議決結果はこうであったと、新しいことが出てくるのも含めて最終報告をするということによろしいのではないのでしょうか。
- 吉方明美委員長 教育委員会ともう1回話し合いをしますか。いつしよかしら。
- 五島誠委員 12月議会までに一度聞いておいたほうがよくないですか。このあと本会議までうちの委員会は知らなかったということになりますけれど、それでもいいのですか。
- 徳永泰臣委員 でもその内容については、ほぼこの間の全協で報告をしている。
- 五島誠委員 吉方委員長は報告されましたけれども、教育委員会がどういうことをやろうとしているかということは、それ以降の動きはわからないわけなので、12月議会の前に一度協議の場を持っておいたほうが私はいいと思いますけれど。上程されてしまうと、そこからは審議になってしまうので。
- 徳永泰臣委員 上程の内容についてしっかり聞いておかないといけないということでしょう。
- 五島誠委員 上程内容も含めてですけれどね。
- 吉方明美委員長 11月中にね。
- 谷口隆明委員 大きな問題なので、多分11月に全協でも事前報告されると思うのです。だから、それまでに委員会としてやるならやるということにして、早めに委員会に報告してもらおう。
- 吉方明美委員長 教育委員会から説明を受ける。大体いつごろがいいか。11月上旬。
- 谷口隆明委員 中旬まで。
- 五島誠委員 このままいけば18日が全協の予定なるのではないかと。あしたぐらいに日程が出てくるのだと思うのですけれども、11月18日が全協になると思いますので、その1週間前ぐらいのところで少なからず聞いておいたほうが。多分、全協の事前説明のような形もまた取られたりするのだろうなと思うのですけれども、やはり所管委員会としては一定の責任を持つという意味も含めて先に聞いた

ほうがいいでしょうね。

- 吉方明美委員長　それでは、11月11日か12日の午後、教育委員会と。皆さん、空けておいてください。3番の教育条件整備については11月11日か12日の午後に教育委員会から説明を受ける。それを含めて、12月の議決状況も含めて、3月議会で最終報告として仕上げるということでもいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

- 吉方明美委員長　最後、感染症対策について。

- 五島誠委員　こちらについては、コロナの状況がどうなるかということもあったので、どういったことがあっても対応できるようにということで審査項目にしていたが、余り大きく閉会中に感染症のことについて議論する場面がなかったのも、こちらも自然に3月いっぱいまでは残しておくとしても、議論していないので報告ということもないし、ほかの場面でこのことについては議論させていただいていると思いますので、報告なしで終わっていくということでもいいのではないかな。また今後の状況によって変わってくると思いますけれども、今のところはまだそれでいいと思います。

- 吉方明美委員長　学校での対策というのは国の指導なんかもあったりして、今のところ順調に対策は進んでいるのではないかなと思います。9月議会で国に対して少人数学級の前進を求める意見書が議決されて、国へ意見書を出すというような取り組みもしたので、一応うちの議会とすれば、これで一つ区切りがつくのではないかなと思うのだけれど、いかがでしょうか。まだ何かしないといけないことがありますか。

- 五島誠委員　ただ1点怖いのは、これから先の状況としてどうなるかわからないという、正直まだ見えない部分もあるので、最後まで残しておいたほうがいいのではないかなと思います。

- 吉方明美委員長　残すけれど、今から取り組みはしない。皆さんの意見はどうですか。副委員長どうですか。

- 近藤久子副委員長　はい。

- 吉方明美委員長　谷口委員どうですか。

- 谷口隆明委員　異議なし。

- 吉方明美委員長　おさらいしますと、4つあるうちの生活交通については担当課と協議をして、進捗状況と今後の取り組みについて話を聞く。ただ、これは日程がまだ決まっておりません。2番目のネウボラについては1月の中旬ぐらいに担当課と意見交換をして、3月議会で報告をしてまとめとする。3番目の教育条件については、11月11日または12日の午後に教育委員会から説明を受ける。12月議会で上程をされるようであるが、その内容についても聞いていこうということで、それを踏まえて3月議会では議決状況やらその後の情報などを含めて最終報告をしていくと。感染症対策については今後、特に取り組みをしないが、一応項目だけは残しておこうということで進めたいと思います。生活交通の日程調整をまだ決めていなかったのですけれども、担当課といつ話をするか。

- 近藤久子副委員長　12月議会の前になりましょうということがあったので。

- 吉方明美委員長　大体いつごろにしましょう。11月中旬ぐらいまでにはしないといけないだろう。

- 五島誠委員　こちらについてはどういう感じで進んでいるのかも全くわかっていないので、一たん担当課に聞いていただいて、タイミング的に今なら説明というか、報告だったりがあるよというタイミングで聞いたほうがいいのかなどは思うのですけれども。

- 吉方明美委員長　発信できる情報があるかどうかということね。

○五島誠委員　　それも含めてです。わからないところがあるので。

○吉方明美委員長　　担当課へ私から聞いてみます。一たん集まることができそうにないので、その状況によって、また今からの取り組みを皆さんへメールで連絡するようになろうと思います。では、そうしましょう。以上の4点、皆さんのほうで質問がないでしょうか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○吉方明美委員長　　以上をもちまして、きょうの委員会を終わります。ありがとうございました。

午後4時28分　　閉　　会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長 吉方明美